

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0434

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国費外国人留学生制度			担当部局	高等教育局		作成責任者			
事業開始年度	昭和29年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)付		参事官(国際担当) 渡辺 栄二			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定) 「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」(平成25年6月14日閣議決定) 「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)					
主要政策・施策	ODA			主要経費	経済協力					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	諸外国の優れた人材を我が国の高等教育機関で受け入れることで、我が国と諸外国との国際交流を図り、相互の友好親善を促進するとともに、将来を担う人材の育成に資することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	関係省庁と連携し、諸外国の優秀な人材を国費外国人留学生として受入れ、高度人材の養成を行い、我が国のグローバル化、諸外国との相互理解の増進と人的ネットワークの形成、我が国の大学等の教育力・研究力の強化及び国際的知的貢献を図る。本事業では、国費外国人留学生に対し奨学金等を給付するとともに公私立学校に在学する者について授業料等を支出する。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	18,577	令和2年度	18,568	令和3年度	18,476.9	令和4年度	18,387
		補正予算		▲ 628		▲ 1,178		▲ 1,057		▲ 999
		令和4年度 第2次補正予算								▲ 999
		前年度から繰越し		-		-		-		-
		翌年度へ繰越し		-		-		-		-
		予備費等		-		-		-		-
		計		17,949		17,390		17,419.9		17,388
	執行額		17,078		15,520		14,788			
	執行率 (%)		95%		89%		85%			
	当初予算+補正予算に対する 執行額の割合 (%)		95%		89%		85%			
令和4年度第2次 補正予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度 第2次補正予算	主な増減理由							
	政府開発援助外国人留学生 給与	▲ 709								
	外国人留学生給与	▲ 290								
	計	▲ 999								
活動内容 (アクティビ ティ)	日本と諸外国との国際交流を図り、相互の友好親善を促進するとともに、諸外国の人材養成に資することを目的として、我が国の大学等への留学を希望する外国人を募集し、選定された者に対して奨学金等を支給									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	選定された国費外国人留 学生に対して奨学金等を支 給	当該年度における受給者 数	活動実績	人	11,106	10,301	10,137			
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/当該年度における受給者数			単位当たり コスト	千円	1,538	1,507	1,527	1,621	
				計算式	百万円/人	17,078/11,106	15,520/10,301	17,420/11,408	18,387/11,344	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 3 年度	目標最終年度 - 年度	
	国費外国人留学生受入れ 大学等における私費外国人 留学生を増やす	国費外国人留学生受入れ 大学等における私費外国人 留学生数	成果実績	人	94,720	85,991	82,260	-	-	
			目標値	人	94,990	98,509	98,509	98,509	-	
			達成度	%	100	87	83.5	-	-	

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進	
	政策評価	施策	13-1 国際交流の推進	
			政策評価書 URL https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf	
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-	
該当箇所			-	
事業所管部局による点検・改善				
		項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は「日本再興戦略」及び「教育振興基本計画」の目標達成に向け、その根幹をなす事業として実施するものである。諸外国の優秀な人材を国費外国人留学生として受入れ、高度人材の養成を行うことで、我が国のグローバル化、諸外国との相互理解の増進と人的ネットワークの形成、我が国の大学等の教育力・研究力の強化、国際的知的貢献に資するものである。
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、国が進める留学生受入、国際的な教育交流及び相互理解の増進へ貢献するものであり、国が直接実施すべき事業である。
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、国が進める留学生受入、国際的な教育交流及び相互理解の増進へ貢献するものであり、優先度の高い事業である。
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先(採用者)は、有識者による選考委員会において申請者の研究内容等を厳正に審査の上、決定されている。
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国費外国人留学生は、日本において研究を行うことを通じ、日本と自国との架け橋となり、両国ひいては世界の発展に貢献するような人材を育成することを目的として外国人留学生に対して奨学金等を支給しており、国が負担することが妥当である。
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	航空券の手配は、より低廉なものを手配する等、単位あたりコストの削減に努めている。
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	費目や用途は、留学生に対する奨学金等に限定されている。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目や用途は、留学生に対する奨学金等に限定されている。
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	活動実績が見込みに見合ったものであり、優秀な留学生の継続的な受入れにつながっている点から、本事業の実効性は高い。国際交流に貢献するとともに、将来を担う人材の育成に資するという成果目標にもつながるものであり、成果実績も成果目標に見合ったものである。
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合ったものであり、優秀な留学生の継続的な受入れにつながっている。
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-
	事業番号		事業名		

備考

関連する過去のレビューシートの実業番号

平成23年度	172			
平成24年度	193			
平成25年度	425			
平成26年度	424			
平成27年度	416			
平成28年度	411			
平成29年度	398			
平成30年度	406			
令和元年度	文部科学省 - 0404			
令和2年度	文部科学省 0405			
令和3年度	2021 文科 20 0424			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



